



令和6年 5月発行
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当:塚原 紀子
〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2
TEL: 0575-33-4011 (内線210)

家庭教育学級リーダー研修会

令和6年4月に美濃地区家庭教育学級リーダー研修会を、各地で開催しました。各市の研修会の様子をご紹介します。



郡上市



4/16 10:00~(乳幼保こ) 14:00~(小中)
八幡総合文化センターより

郡上市の幼保こ園の部は参集とオンラインを併用して、小中学校の部はオンラインで行いました。劇で演じる「説明動画」がとてもわかりやすいと保護者の委員さんから評判でした。ブレイクアウトルームを使っているサロン式の交流会では、すべてのグループに市の担当者も加わり、質疑や意見交換が行われました。

美濃市



4/19 15:00~(乳幼保こ・小中)
防災中央コミュニティセンターより

美濃市では、各学校と園が同じオンラインで同時に開催しました。当日は、市の担当者による家庭教育学級におけるマイクロバスの利用方法の説明後、それぞれの年間の活動計画について熱心に話し合い、作成されました。

関市



4/24 10:00~(乳幼保こ) 15:00~(小中)
関市まなびセンターより

関市では、市の専門員から「子育てメーター」を使った説明があり、研修会に参加された皆さんが自身の子育てについて確認されました。

また、小中学校の部では、市内3校の教頭先生による実践発表も行われました。



地域の中の子育て支援

各地域では、園や学校などで開かれる家庭教育学級や、育児や支援のための様々な活動が行われています。

今回は、関市の子育て支援施設「ははこぐさ」の取り組みをご紹介します。

子育て支援施設 ははこぐさ（関市 倉知保育園内）

【活動の目的】



ははこぐさは、「こどもは社会の宝」「みんなで力を合わせた育児」をモットーに活動してみえます。平日は子育て支援員が常駐し、誰でも気軽に利用することができます。また保護者向けの子育て相談や、親子で楽しめる体験教室などが定期的で開催されており、お子さんの友達作りはもちろん、子育ての情報交換の場として、お母さんの不安解消の手伝いをして見えます。

今回は、3月21日に開催された「ママヨガ講座」の様子をご紹介します。

【活動の様子】



◇「ママヨガ」講座



ははこぐさで育ったお母さんが、インストラクターになってヨガ講座を開いて見えました。子育てをしながら、自分らしい生き方を模索するお手伝いもしてみえます。

◇ははこぐさのお部屋



「ママヨガ」講座の開催時は、関市の「アクティブGメン」や「あやめ会」の方々ボランティアで託児をしてくださいます。また、普段も親子で自由に利用することができ、多くの方が利用してみえます。

◇子ども服リユース広場



ベビーから小学生までを対象としたリユース事業は、衣服などを、自由に持ち込んだり、いただいたりできる「あげます・くださいの広場」。取材当日も、多くの方が利用してみえました。

この他、ははこぐさでは、次のような取り組みも行われています。

- ・「お話し広場どんぐり」や「親子で楽しくリトミック」等、季節に応じたイベントの開催
- ・赤ちゃん広場や年齢別親子教室の開催と託児協力
- ・「助産師からだこころ講座」や「栄養士による食のお悩み相談」などの開催
- ・「ははこぐさ通信」やインスタグラムによる積極的な情報発信



【取材を終えて】



日々、子育てに奮闘してみえる保護者のために、ホッと一息つける居場所を提供したい・・・そんな願いがあふれる「ははこぐさ」。取材当日は、隣接する倉知ふれあいセンターで「倉知ふれあいマーケット」や無料カフェ「さんやほう」も開催されていました。

今後も様々な活動が予定されていますので、気軽にご利用いただきたいと思います。

家庭教育支援チーム

家庭教育支援チームは、地域の人が協力して家庭教育の充実をサポートする団体です。今回は、令和4年度に設立された美濃市の家庭教育支援チーム「まごころ広場」の取組みをご紹介します。

美濃市「まごころ広場」



【活動の内容】



家庭教育支援チーム「まごころ広場」は、元教師や元保育園長など、子育ての経験や理解のある16人が中心となって活動してみえます。

今回は春休みの期間を利用し、美濃市在住の幼保・小学校3年生までの親子を対象に開催された交流会「えいごであそぼ」の様子をご紹介します。

【活動の様子】



当日の交流会には、11家族30名が参加され、市内ALT教師の方々、まごころ広場スタッフ、高校生ボランティアの生徒の皆さんと一緒に活動・交流しました。



当日は6つのコーナーが設けられ、子どもたちは英語を使った遊びを楽しみました。



各コーナーでは、英語を使って遊べたら、スタンプがもらえます。親子でスタンプ集めに挑戦して、ご褒美をもらいました！



子どもたちがお絵かきに夢中になっている間に、保護者の方々はゆっくりと交流することができました。



英語絵本の読み聞かせコーナーでは、「はらぺこあおむし」などのよく知っているお話ばかりで、子どもたちも興味深く最後まで聴くことができました。

【取材を終えて】



「親子一緒に楽しく参加できてよかった。」「新しい友だちができた。」「また是非、参加したい！」等、参加親子の感想からは、楽しかった様子が伝わってきました。

今後は、相談窓口の開設や、地域ぐるみでの子どもたちの見守り活動なども考えてみえます。

「行政の手が届かない人へのパイプ役として、地域にできることをこれからも考え続けていきたい。」まごころ広場のメンバーの思いは、常に地域の子どもたちに注がれています。